

学校教育目標		総合評価		
「花とみどりと笑顔の学校」 ～あふれるあいさつ ひびきあう心～ 「社会において自立的に生きる力」の育成 10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造				
今年度の重点目標		成果と課題	評価	改善策・向上策
よくふれあい…「友だちいっぱい」 多様な大人の一人としての教師 教師が児童によく向き合い、多様な他者と関わり合う場を確保している				
よく学び…「日記を書こう」 学び続ける教師 教師は、児童が学び方の基本、自ら学ぶ基礎力を身に付けるべく努力・工夫している				
よく遊ぶ…「遊びつくそう」 子どもと共に遊ぶ教師 教師は、「遊び」を大切にし、児童と一緒に遊んでいる				

領域	重点	評価項目	評価の観点			
学校教育	よくふれあい	「多様な他者とかかわり合う場」の確保	学校において、地域の様々な大人と関わり合う場を確保し、地域のもてる力が有効活用しようとしている。			
		「教師が子どもと向き合う時間」の確保	朝の学級活動の時間の工夫により、教師が子どもと向かい合い、子どものやる気を高める時間となっている。			
	よく学び	「学年研究体制による授業改善」	指導主事を専任講師とし、授業公開をすることを通して、授業改善を図ろうとしている。 国語、算数を中心とし、児童の「自ら学ぶ力の強さ（学力）」を向上させようとしている。			
		「北小学びのスタンダード」（全学年共通で身につける学び方の基本）の推進	教師の指導がなされ、以下のことができている。 1 発言者以外は静かに聞く。 2 呼ばれたら「はい」と返事をする。 3 話し手に顔と体を向けて話を聞く。 4 話し手は、聞こえる声で終わりまで話す。 5 聴き手は、話し終えるまで聞く。			
		書く活動の充実	教師は、日記指導を通し、児童が自ら学ぶ基礎力（思考力、表現力）を育てようと指導している。			
	よく遊ぶ	自主的活動の時間の確保	昼休み等の時間が、遊びや、児童の自主的な活動のための時間となるよう指導している。			
「ハッピータイム」（外遊びの日）等の充実		教師は、子どもと共に遊び、子どもが外遊びを楽しむような働きかけをしている。				
学校運営	保護者・地域との連携	情報の発信	学校（学年、学級）は、教育方針、取組やその成果、連絡など、必要な情報を発信している。			
		PTA やボランティアとの連携	学校は、PTA やボランティアとの連携を十分行っている。			
		家庭学習の充実	学校は、家庭学習の習慣化や学習内容の定着・意欲の向上を図る働きかけをしている。			

